



生涯現役！

令和6年度内閣府エイジレス・ライフ実践事例、  
社会参加活動事例に本市から1名・1団体の受章  
が決定しました



ターゲット 10.2

2024年9月9日

郡山市保健福祉部

健康長寿課

課長 小松 信一

TEL：924-2408

SDGs ターゲット 10.2 「全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する」

内閣府が高齢者の社会参加活動の内容を広く全国に紹介する個人及び団体に、本市からエイジレス・ライフ実践事例1名、社会参加活動事例1団体の受章が決定しました。

## 1 受章者

受章者（団体）名	活動内容
【エイジレス・ライフ実践事例】 かわかみ ともこ 川上 朝子 様	鳴神長寿会老人クラブ会長として会員の健康づくり活動、友愛活動、奉仕活動など各種事業の活性化に取り組み、平成16年からは大成小学校において昔遊びなどを通して児童との世代間交流を図っている。また、老人クラブに「子供見守り隊」を結成しリーダーとして隊員25名をまとめ、毎日下校時に4名ずつ日替わり当番制で活動し、地域の安全安心に貢献している。他に鳴神町内会総務副部長や地区社会福祉協議会のボランティア活動補助員など各種団体の役割を担い、地域からの信頼も厚い。
【社会参加活動事例】 国際交流の会・ かるみあ	平成7年に団体を設立し、長年にわたり国際文化交流普及活動を展開してきた。週1回開催される日本語学習ボランティアには毎回多くの外国人会員とボランティア会員が参加し、日本語を学ぶだけでなく、生活上の困りごとの相談にのり、場合によっては行政手続きに同行し伴走型支援を実施しており、在住外国人の心の拠り所の役割を担っている。地域の国際理解を広げ、在住外国人の受け皿となり、日本への理解促進に貢献している。

2 伝達式 令和6年10月に書状及び記念の楯の伝達式を予定しております。

### <エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例>

内閣府では、高齢期を迎えた方、又はこれから迎えようとする世代の方々に、高齢期における生き方の参考としていただくことを趣旨に、エイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る）を実践している高齢者の事例（「エイジレス・ライフ実践事例」）や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等（「社会参加活動事例」）を毎年募集し、その中から紹介する事例を選考し広く紹介しています。令和6年度は、全国でエイジレス・ライフ実践事例（個人）49名、社会参加活動事例（グループ等）29団体が選考されました。

【参考】内閣府ホームページ

URL：[https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age\\_list\\_all.htm](https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm)



2024（令和6）年 郡山市は市制施行100周年！！

ひらけ 未来へ こおりやま